

ラクラクハンドがテレビで紹介されました！！

NHK-BS プレミアム「鉄オタ選手権 JR 東海・東海道新幹線の陣」浜松工場へ

NHK-BS プレミアムで 2021/5/21 に放映された「鉄オタ選手権」、「鉄道オタク」として有名な司会の中川家さんとダーリンハニーの吉川正洋さん、村井美樹さん、おいでやすこがのこがけんさんが、JR東海様の浜松工場へ潜入し、新幹線の秘密を探るという内容の中で、なんと弊社のラクラクハンドが紹介されました。

このラクラクハンドを納入した営業と設計、それぞれの担当者の苦労話も紹介いたします。

- 番組も後半の 43 分、浜松工場にしかないという「秘密兵器」として「この装置は新幹線の何に使われるのでしょうか？」というクイズが出題されました。

ここで「ラクラクハンド」登場です！

(残念ながら、商品名も会社名も出てきません…。当たり前ですが。)

《選択肢》

- A. トイレの洗浄（衛生陶器のメーカー様では運搬にも使われています。）
- B. 乗務員ドアの取り付け（これが正解！）
- C. グリーン車座席の取り付け
(自動車メーカー様ではシートの取り付けにも使われています。)
- D. 屋根部分の塗装（工具の保持等では使われている例があります。)

- ラクラクハンドをじっくりと観察した こがけんさん からは、「なんでも鑑定団」風に「いい仕事してますねー」とのコメント。

⇒ありがとうございます！ラクラクハンドは完全受注生産により、ものづくりのプロたちが徹底的にこだわってひとつひとつハンドメイドで創り上げています。



[弊社組立工場]

●クイズの方は、全員正解！すばらしい！

続いてアームを展開し、実際にJRの社員さんによる取り付けの実演作業です。

●村井美樹さんからは「ちゃんと（ドアの）カーブに合わせた形状になっていますねー」と細かいところまで観察いただきました。

⇒ありがとうございます！ラクラクハンドは、実際に運ぶものに合わせて「掴み具」を一品一様の専用設計でイチから製作しています。吸着用のパッドひとつとっても独自のノウハウがあり、安全性はもちろんのこと、それに加えてガラス面を吸着してもパッドの跡が残らないように、材質・形状・大きさ・吸着力等、何度も何度も試して慎重に調整しているんですよ。



[弊社設計部署]

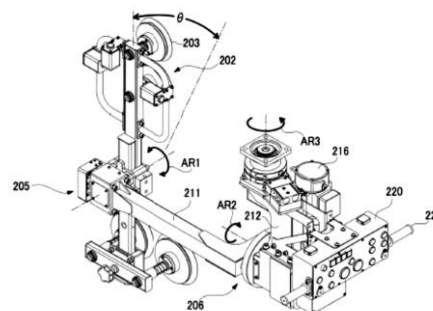
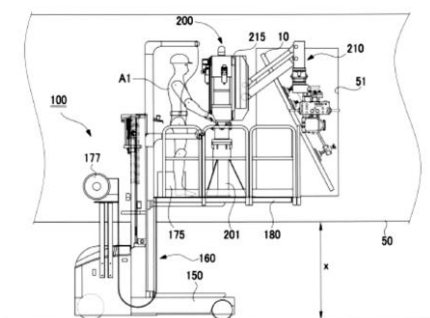
●90kgもある重いドアが文字通りラクラクとハンドリングできる様子に皆さんとても感心されていました。

⇒限られたスペースの中でいかにうまく作業できるようにするか？ここが一番の工夫のしどころです。

さすがに肝心の実際の組付け作業の細かいところまでは放映されず、このあたりは企業秘密ということでご容赦いただきたくれば幸いです。

ラクラクハンドは、自動車組立ラインのドア取付工程にもご活用いただいています。

ドアを持上げているラクラクハンドは、新幹線を製造している日本車輛製造様に納入したもので、日本車輛製造様にて「開き戸取付／取外し装置」（ベースを含む装置全体）として製作され、JR東海浜松工場様に納められ、ご活用いただいています。また、この装置は、日本車輛製造様と共同で特許出願を行い、特許権を取得しました。特許公報 [特許第 6791748 号](#) [\[技術概要\]](#)



JR東海様、このように弊社のこだわりが詰まったラクラクハンドをご愛用いただき、またご紹介いただきどうもありがとうございました！

今後ともどうぞよろしくお願いたします。

担当者コメント

【営業担当 前田】

この狭い開口部からドアを入れて組み付ける作業は、30年以上の営業経験の中でも難しい仕様でした。テストは、修正作業も覚悟の上で臨みましたが、一発で上手くいったのは、今でも鮮明に記憶に残っています。

これだけ気持ちよくテレビで紹介されると本当にうれしいです。



【設計担当 坂井】

新幹線車両は機密事項が多いので、限られた情報の中で設計するのに苦労しました。

お借りしたドアは旧型であり、そのドアに、放映されたような湾曲を付け足して同じ形状を作りテストしました。

また、現物のドア取付け部を確認したくて名古屋駅のホームまで「乗務員用ドア」が開くのを見に行きましたが、どの新幹線も名古屋駅では閉まったままだったので確認できませんでした。今では良い思い出です。

今回、苦労して設計したラクラクハンドがテレビ画面の中にあり不思議な気分を味わったとともに、目の肥えた鉄道ファン向けの番組に採用していただき光栄でした。鉄道オタクの心をくすぐれたことが嬉しかったです。これからも世界の技術の中心で活躍できるラクラクハンドを設計していきます。

